



公立高校の願書を点検します

中学校生活最後の冬休みはいかがでしたか。今までの冬休みとは違った気持ちで過ごした日々だったのではないのでしょうか。

さて、本日提出した公立高校の願書は、3学年の先生方がこの後一斉に点検します。下書き練習をしてはいますが、記入ミスがあった場合、明日の学活などを利用して訂正してもらいます。担任の先生から指摘がなかった場合は「記入ミスがなかった」と考えてよいですが、安心するのはまだ早いです。出願するために必要な書類を全て揃えた後に教頭先生が願書を点検します。そこでミスが発見された場合は、17日(金)に訂正してもらいます。

ミスがなくなった公立高校の願書は20日(月)に中学校から高校へ提出する予定です。

□ 私立高校の一般受験をする生徒の皆さんへ

※下書きは白黒でしたが、本物の願書は「コースによって色が異なる」という高校があります。よく見て願書そのものを間違わないように十分注意してください。

- ①願書に清書する。
- ②振込用紙に必要事項を記入し、受験料を金融機関に振り込む。(21日(火)まで)
- ③「金融機関で領収印が押された部分」を願書に貼る。(←高校によって詳細が異なります。直接、願書の一部に領収印を押す形式の高校もあります。)
- ④封筒や宛名シールなど、願書と一緒に提出するものをそろえる。

(何が必要かは高校によって異なるので、「募集要項」で確認すること。

『個人調査書』は中学校で作成するものなので、生徒は用意しなくてよいです。)

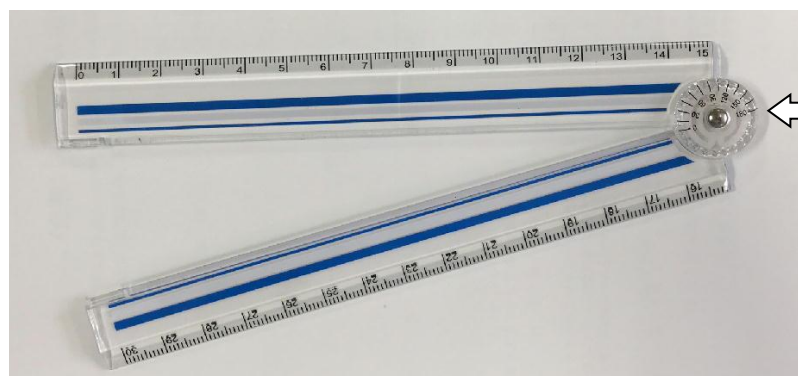
- ⑤22日(水)に願書一式を提出する。

※「保護者が同窓生である」、「兄・姉が在学中である」、等の特待制度がある高校については、願書に忘れずに記入してください。

□ 公立高校の受検に備えよう①

持参品として、「定規」は認められています。直定規・三角定規は問いませんが、2枚まで机の上に置くことができます。ただし、分度器の持込みはできませんので、「分度器のついた定規」も持込みができません。普段それを使用している人は、受検用に別なものをそろえましょう。

持込みができない
定規の例



ここが
分度器